

直方体の格子展開図における重なり

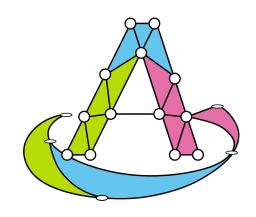
2022年度 冬のLAシンポジウム

◎ 塩田 拓海 (九州工業大学)

鎌田 斗南(北陸先端科学技術大学院大学)

上原 隆平(北陸先端科学技術大学院大学)

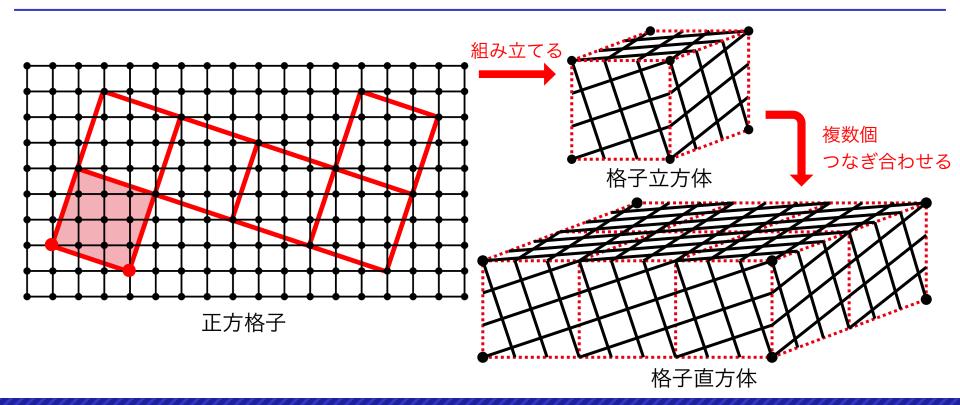
2023年 1月 31日 (土) 13:00~13:25



直方体における格子展開図とは?

定義 1 (格子立方体・格子直方体)

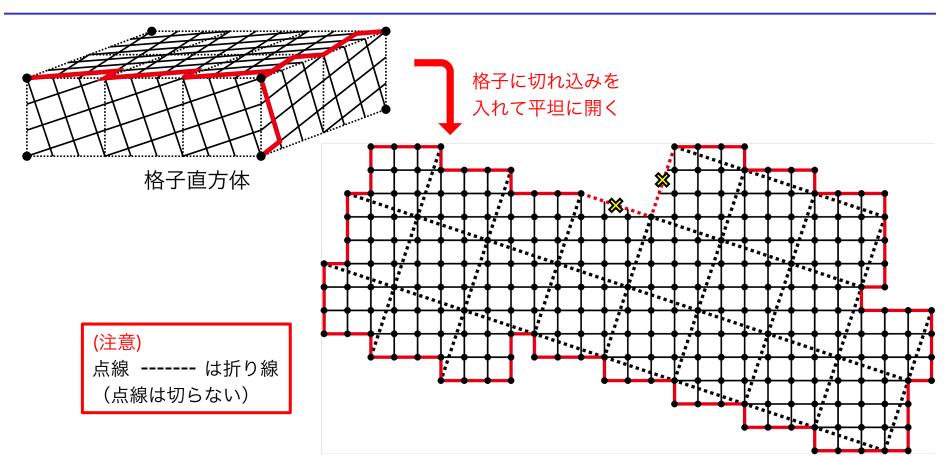
正方格子上に2点を選び、その2点を1辺とする正方形を作る。この正方形を1面にして組み立てた立方体を格子立方体という。格子立方体を複数個つなぎ合わせることでできる直方体を格子直方体という。(注:格子立方体 c 格子直方体)



直方体における格子展開図とは?

定義 2(格子展開図)

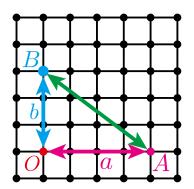
格子直方体の格子に切れ込みを入れて平坦に開いた多角形を格子展開図という.



格子立方体の1辺の長さの決め方

立方格子の1辺の長さを1とする

- ① 正方格子上に原点 O(0,0) を決める
- ② 点 A を (a,0) 点 B を (0,b) とする $(a \in \mathbb{N}, b \in \mathbb{N}^+, a \ge b)$
- ③ 線分 $AB = \sqrt{a^2 + b^2}$ を、格子立方体の1辺の長さとする



格子立方体の一覧

a の値	1	1	2	2	2	3	•••
<i>b</i> の値	0	1	0	1	2	0	•••
線分 AB の 長さ L	1	$\sqrt{2}$	2	√5	$2\sqrt{2}$	3	•••
L×L の 正方形							
L×L×L の 格子立方体							

格子直方体の3辺の長さの決め方

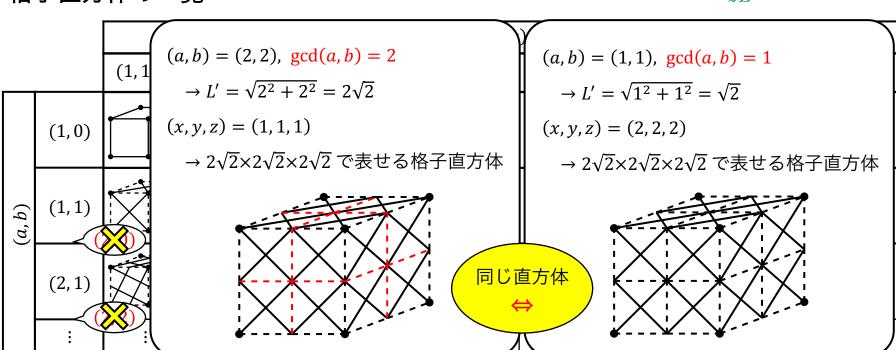
格子立方体の1辺の長さを L' とする

$$\underline{L'} = \sqrt{a^2 + b^2} \ (a \in \mathbb{N}^+, b \in \mathbb{N}, a \ge b, \gcd(a, b) = 1)$$

格子直方体を $xL' \times yL' \times zL'$ $(x, y, z \in \mathbb{N}, x \leq y \leq z)$ で表記

xL' zL'

格子直方体の一覧

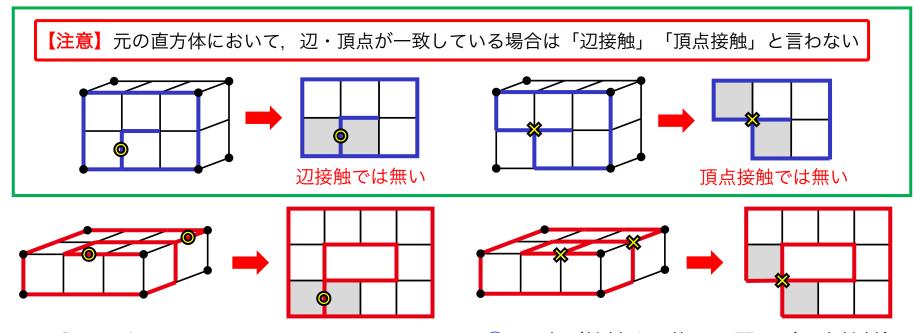


重なりを持つ格子展開図

定理 1 [上原, 2008]

1×2×3の格子立方体には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

1×2×3 の格子直方体の赤色の太線に沿って切り開くと… | 実演あり

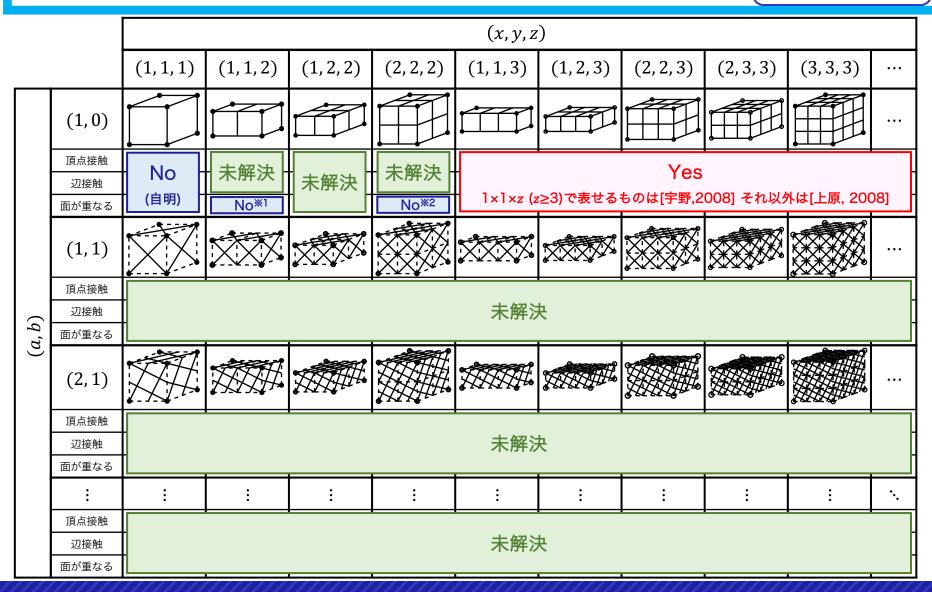


② 辺が接触する格子展開図(辺接触)

③ 頂点が接触する格子展開図(頂点接触)

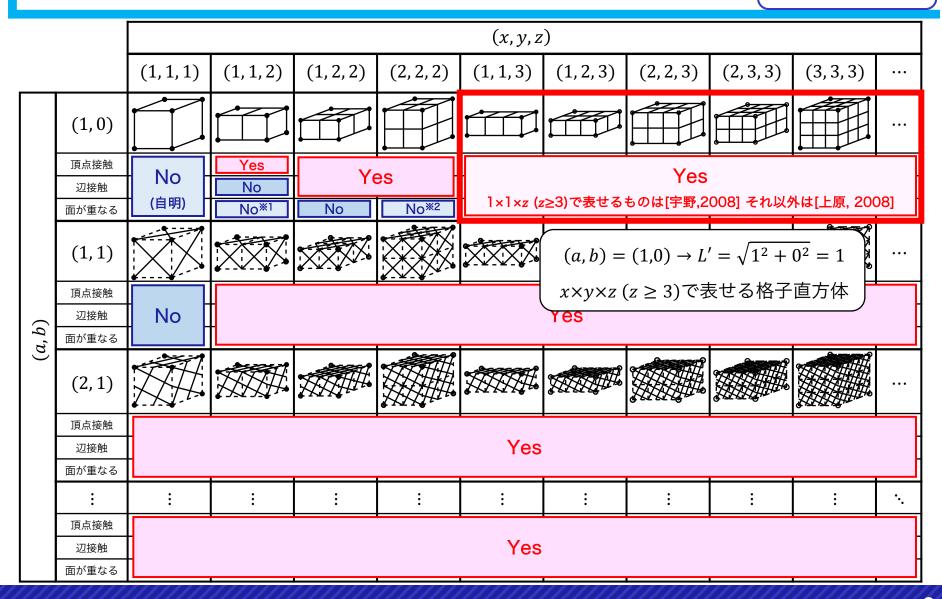
%1: [R.Hearn,2018]

※2: [杉浦,2018]



%1: [R.Hearn,2018]

※2: [杉浦,2018]

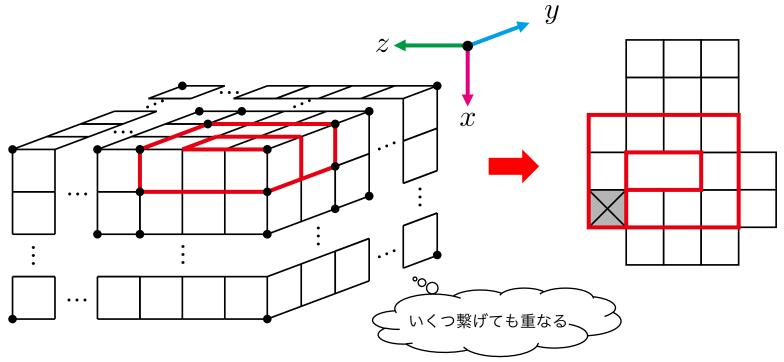


格子直方体 $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) における重なり

定理 2 [上原, 2008]

 $x \times y \times z$ ($y \ge 2, z \ge 3$) の格子直方体には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

【再掲】1×2×3の格子直方体の赤色の太線に沿って切り開くと…

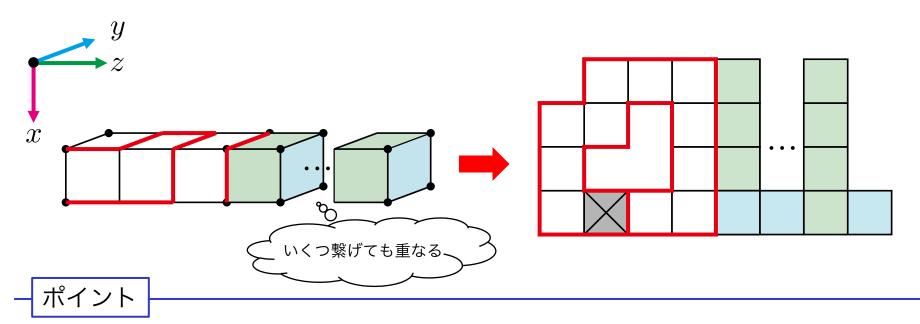


格子直方体 $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) における重なり

定理 3 [宇野, 2008]

 $1 \times 1 \times z (z \ge 3)$ の格子直方体には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

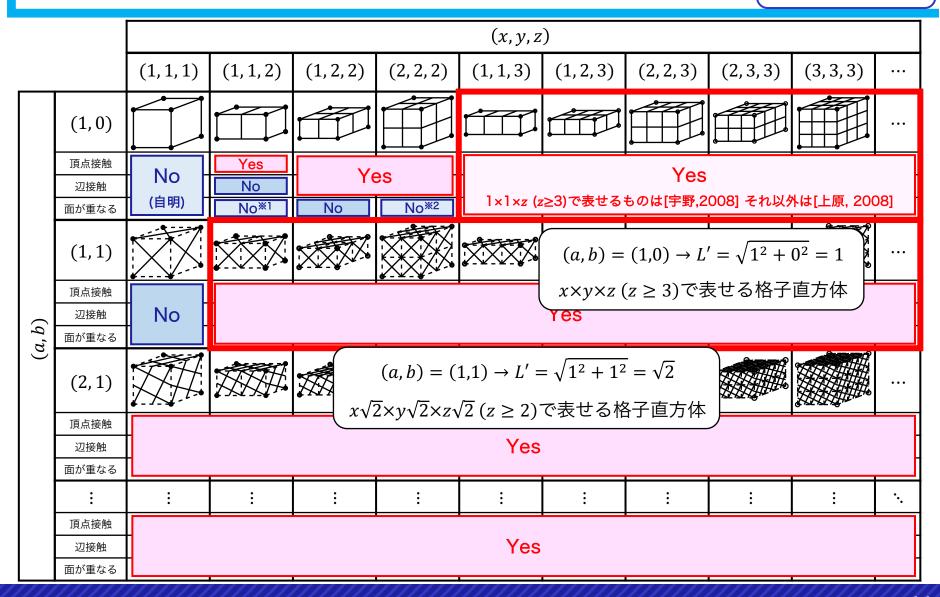
1×1×3の格子直方体の赤色の太線に沿って切り開くと…



小さいユニットで重なりを持つことが言えると、拡張しても重なることが言える.

%1: [R.Hearn,2018]

※2:[杉浦,2018]

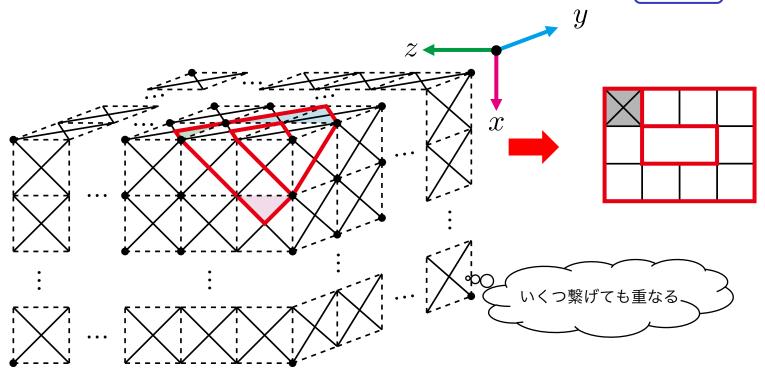


格子直方体 $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}(z\geq 2)$ における重なり

補題 1

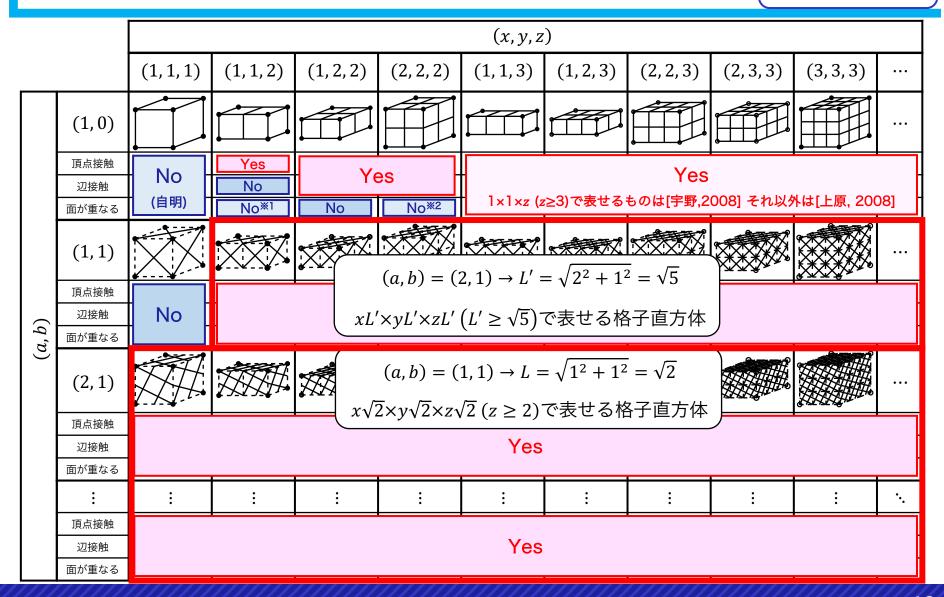
 $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

【証明】 $\sqrt{2} \times \sqrt{2} \times 2\sqrt{2}$ 格子直方体の<mark>赤色の太線</mark>に沿って切り開くと… 実演あり



%1: [R.Hearn,2018]

※2:[杉浦,2018]

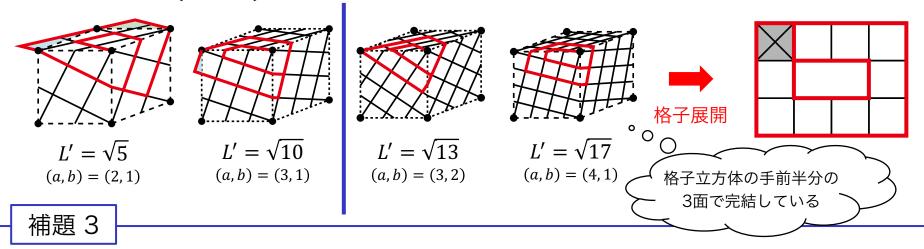


格子直方体 $xL' \times yL' \times zL'$ $(L' \ge \sqrt{5})$ における重なり

補題 2

 $xL' \times yL' \times zL'$ $(L' \ge \sqrt{5})$ の格子直方体には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

【観察】 $L' \times L' \times L'$ ($L' \ge \sqrt{5}$) の格子立方体を見ていくと…

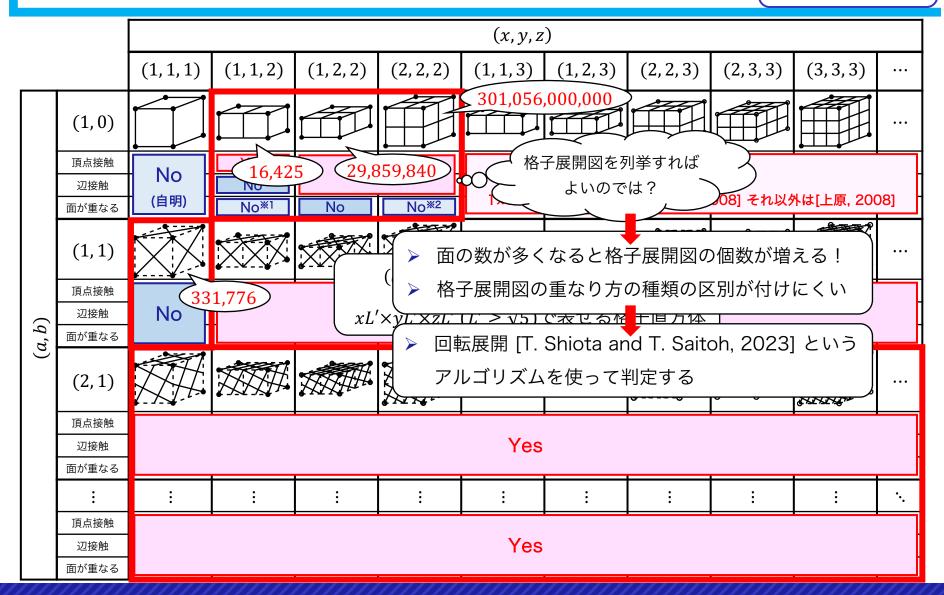


 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前半分には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

証明は, 予稿の p.9-7 に載せています.

%1: [R.Hearn,2018]

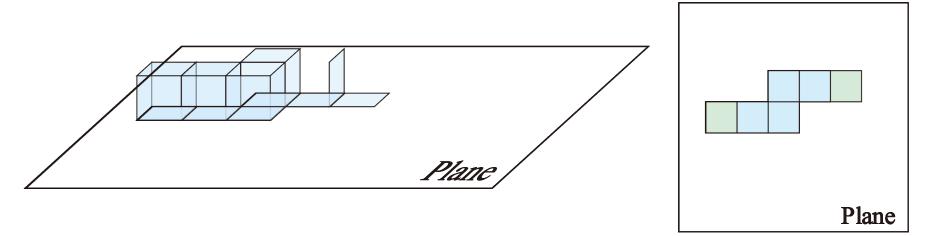
※2: [杉浦,2018]



重なりを持つ展開図の探索

回転展開 [T. Shiota and T. Saitoh, 2023]

多面体をコロコロと転がすことで任意の二面間のパスを列挙し、列挙したパスの 両端点に位置する面どうしの重なりを確認する手法



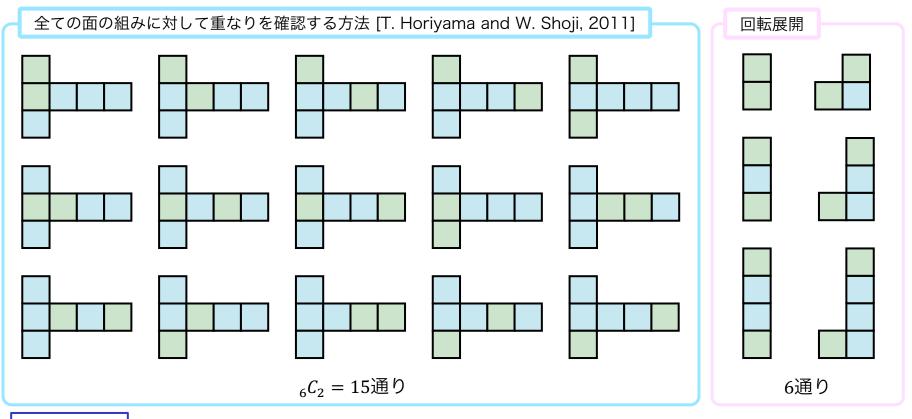
なぜパスの両端点の面の重なりだけを判定すれば良いのか…?

補題 4

辺展開図のある2面を結ぶパスは、回転展開で列挙したいずれかのパスに該当する.

なぜ回転展開が早いのか?

(例) 立方体の辺展開図の1つに対する重なりを確認すべき面の組み



ポイント

辺展開図を列挙する必要がなく、パスの両端点の面の重なりだけを判定すればよい

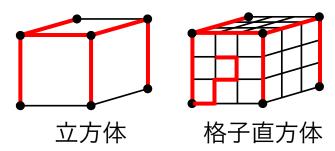
回転展開の格子直方体への適用

今までの回転展開は…

- ▶ 多面体の辺に沿って切れ込みを入れることで得られる辺展開図を扱っていた
 - → 各頂点に対して、必ずいずれかの方向かに切れ込みを入れないといけない : 平坦に開くことができないから

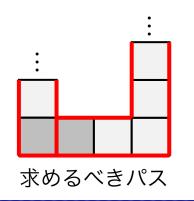
一方で格子直方体は…

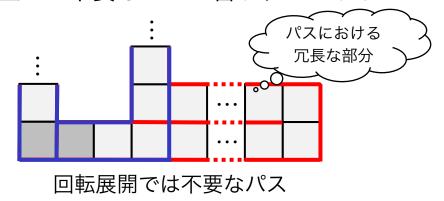
▶ 全ての格子上の点に沿って、必ずしも切れ込みを 入れる必要はない



そのため…

▶ 列挙したパスの中に、重なりを確認する上では不要なパスが含まれてしまう



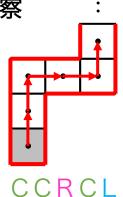


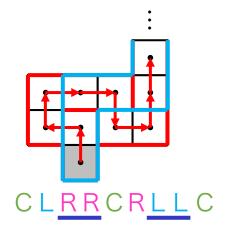
回転展開の格子立方体への適用

パスに冗長な部分が含まれる格子展開図の観察

1ステップ前で転がした方向から見て…

- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす → L



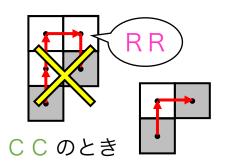


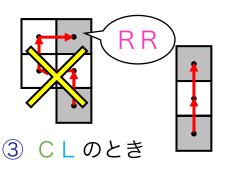
補題 5

回転展開において、文字列 "RR" or "LL" が現れるパスには冗長な部分がある.

【証明の概略】 文字列 RR が含まれるパスを、3つに場合分けをして考える







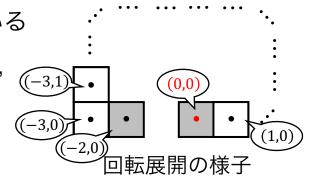
文字列 "RR" or "LL" が表れたら枝刈り ┿ 冗長な部分を含まないパスのみを得る

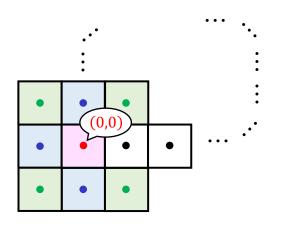
回転展開の格子立方体への適用

格子展開図の(種類も含めた)重なりの判定

回転展開では、転がす度に重なりがあるかを判定している

→ パスの片方の端点の面の中心座標 (x, y) を (0,0) とし、 転がしながら、もう一方の端点も逐次計算する (格子の1辺の長さは1)





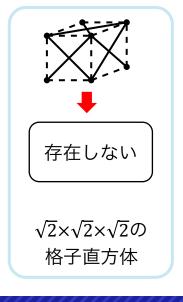
パスの、もう一方の端点の面の中心座標が…

- (0,0) のとき → 面が重なる
- (0,1),(-1,0),(0,-1)のとき → 辺接触
- (1,1), (1,-1), (-1,-1), (-1,1) のとき → 頂点接触

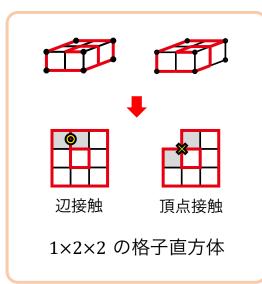
格子直方体 $\sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{2}$, $x \times y \times z$ (z = 2) における重なり

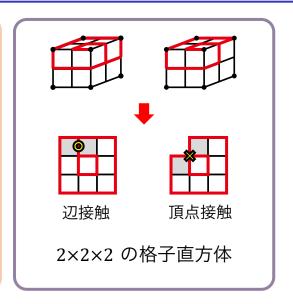
補題 6

- 1. $\sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{2}$ の格子直方体には、重なりを持つ格子展開図が存在しない。
- 2. 1×1×2 の格子直方体には、面どうしが重なる格子展開図、辺が接触する格子展開図が存在しないが、頂点が接触する格子展開図が存在する。
- 3. 1×2×2 および 2×2×2 の格子直方体には、面どうしが重なる格子展開図が存在しないが、 辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。



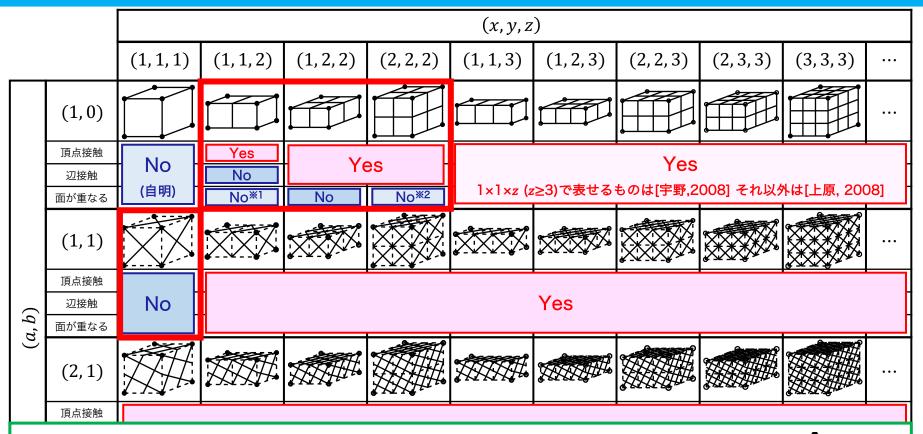






%1: [R.Hearn,2018]

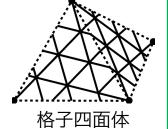
※2:[杉浦,2018]



今後の課題…

立方格子から作ることができる六面体(直方体) を対象

→ 三角格子から作ることができる四面体や八面体へと拡張していく。

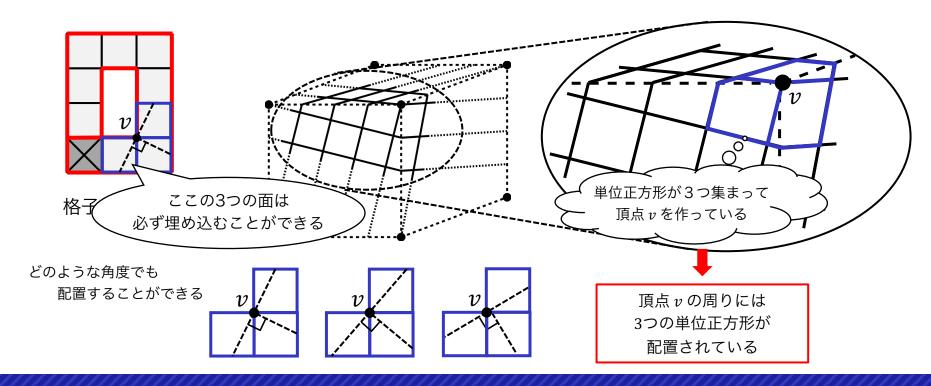


【補足】格子直方体 xL' imes yL' imes zL' $(L'\geq \sqrt{13})$ における重なり

補題 3

 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前半分には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

【証明】 次に示す面どうしが重なる格子展開図 Q を考える



【補足】格子直方体 xL' imes yL' imes zL' $(L'\geq \sqrt{13})$ における重なり

補題 3

 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前半分には、面どうしが重なる格子展開図が存在する。また、辺および頂点が接触する格子展開図が存在する。

